

市内医療機関の皆様へ

横浜市保健所長

インフルエンザの市内流行開始に伴う注意喚起について（依頼）

日頃から本市の感染症対策に御理解、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市では、第 48 週（11 月 26 日～12 月 2 日）の定点医療機関当たりの患者報告数が 1.10 となり、流行開始の目安(1.0)を超えたため、12 月 6 日にインフルエンザの市内流行期入りを公表しました。

区別の流行状況では、瀬谷区を始め、神奈川区、港北区、西区、金沢区、栄区で定点医療機関当たりの患者報告数が流行開始の基準を超えています。

今シーズンの市内でのインフルエンザによる学級閉鎖等の発生は、12 月 5 日までに 15 件が報告されています。

集団発生の多くは職員や面会者による持ち込みが発端となっており、施設に持ち込ませないための対策が重要です。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、各医療機関における持ち込ませない、広げないための対策を徹底するよう「別添」の対応について、院内で御周知くださいますようお願いいたします。

<添付資料>

- 1 別添「施設への持ち込みと感染拡大を防止しましょう！」
- 2 横浜市インフルエンザ流行情報 1 号

健康福祉局 健康安全課

新型インフルエンザ等対策担当

電話：045-671-2445